

授業科目	カントリーライフ学		
単位数	2	授業形態	講義 フィールドワーク
担当教員	中村 太和、橋本 卓爾		
実施日・時間	12月1日(土) 13:00~16:10 (岸和田市:中村 太和)		
	12月15日(土) 13:00~16:10 (田辺市:橋本、中村、非常勤講師)		
	12月16日(日) 9:30~16:00 (田辺市:同上)		
	1月12日(土) 13:00~16:10 (田辺市:同上)		
	1月13日(日) 9:30~16:00 (田辺市:同上)		
	1月26日(土) 13:00~16:10 (岸和田市:橋本 卓爾)		

【講義内容】

地球環境問題が深刻化するなかで、循環型社会への転換が重要な課題になっている。それに対応して個人のライフスタイルにおいてもLOHASなどが注目され、「団塊の世代」を中心に田舎暮らしへの関心が高まっている。このような動向を単なるブームを超えて真に地域に根付かせるためには、循環型社会への転換において農山村はいかなる役割を果たしうるのか、都市と農山村の交流をどのように進めるべきなのか、学問的な裏づけが必要である。本講座では以上のような問題意識を「カントリーライフ学」として展開していきたい。また、このような実践的な課題においては地域でのフィールドワークが必須のものであり、岸和田・田辺サテライトでの講義とあわせ田辺市周辺でのフィールドワークに取り組む。

講義、フィールドワークの内容は以下の通り。

12月1日

- ・循環型社会(カントリーライフ)を支える物質的基盤:バイオマス(生物資源)
- ・循環型社会(カントリーライフ)を支える技術的基盤:小規模・分散・ネットワーク型技術

12月15日

- ・地域の農林業とカントリーライフ
- ・都市—農山村の交流事業とカントリーライフ

12月16日

田辺市上秋津地区フィールドワーク

1月12日

- ・Iターンとカントリーライフ
- ・地域の歴史、文化とカントリーライフ

1月13日

熊野古道フィールドワーク

1月26日

- ・都市—農山村の交流・連携の意義と展望
- ・カントリーライフ学を目指して

【テキスト・教材】

特に指定しない。参考文献は適宜講義の中で示す。

【事前学習】

紀南・田辺地域の歴史と現状について調べておいてください。

【備考】

2回のフィールドワークについては、基本的にJR田辺駅に集合してください。それ以降の交通手段についてはサテライトが確保します。岸和田—田辺の交通費と2回の宿泊費については個人負担をお願いします。2万5000円程度ご負担していただく予定です。